判定士”の役割

受験資格

18歳以上（試験日において）

資格の取得方法

臭気判定士の資格をとるには、年1回行われる筆記試験に合格することと、嗅覚が一般的な感度をもっているかを検査（嗅覚検査）し、合格する必要があります。

筆記試験には、嗅覚測定法はもちろんのこと、人間の嗅覚生理に関する知識、結果のまとめに必要な統計学、悪臭防止行政における臭気対策に関する知識等幅広く要求されます。初めて受験される方は『臭気判定技術講習会』を受講すると基礎知識から身につけることができます。

詳細情報は、ホームページを参照してください。

どんな人が受けているの？

環境分析を行う測定機関や脱臭装置メーカーからの受験者が多いですが、環境保全の必要性が高まりつつある今、ISO14001の取得に取り組む企業が自主的な環境管理のために資格を取得するケースなども増えています。

主なスケジュール

※年度毎の日程は、4月以降に協会ホームページに掲載されます。

1 受験申請書の入手

6月中旬～配布開始
入手方法:返信用封筒（角型2号、返信先記入）に、
1部につき140円分の切手を貼り、協会までお申し込み下さい。
2～3部:200円切手、4～5部240円切手

2 受験申請書の受付

9月中旬締め切り
受験手数料　18,000円（非課税）

3 臭気判定士試験（筆記）

11月中旬（東京、愛知、大阪の3会場）
（試験科目）
①嗅覚概論、②悪臭防止行政、③悪臭測定概論、
④分析統計概論、⑤臭気指数等の測定実務
の5科目で、マークシート方式で行われます。

4 試験結果の発表

12月中旬（郵送及びホームページで案内）

5 臭気判定士免状の申請

臭気判定士試験の合格証書と嗅覚検査の合格証書が必要です。
嗅覚検査は臭気判定士試験の前と後のどちらに受けても構いません。
（ただし嗅覚検査の合格証書の有効期間は1年間です）

6 臭気判定士免状の交付

免状の交付を受けて、はじめて「臭気判定士」として、
仕事をすることができます。
（5年毎に更新が必要です）

●お問い合わせは

【環境大臣指定試験実施機関】
JAOE 公益社団法人 におい・かおり環境協会
Japan Association on Odor Environment

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場2-14-2　新陽ビル1106号
TEL ：03-6233-9011　FAX：03-6862-8854
URL　http://www.orea.or.jp

環境保全に貢献するにおい　環境分野の国家資格

臭気判定士

【環境大臣指定試験実施機関】
JAOE 公益社団法人 におい・かおり環境協会
Japan Association on Odor Environment

http://www.orea.or.jp

私たちを取りまく環境と“臭気

私たちがよく感じる“ごみのニオイ”や“花の香り”などは、いろいろなにおい物質が混ざりあって出来ています。これらのにおい物質は、約40万種類以上あると言われており、混じり合う組合せによって、においが強くなったり、におい質がさまざまに変化します。

そこで、機械ではなく、ヒトの鼻でにおいの濃さを表した“臭気指数”という尺度が開発されました。

日本では、悪臭防止法という法律の中で、工場などから出されるにおいで、周辺住民が困らないように、臭気指数による的確な判定法が導入されています。

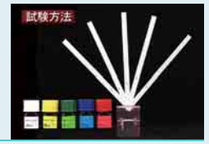
しかし、臭気指数は6人の鼻を使うため、精度よくかつ安全に測るには知識と技量が必要となります。そこで、国家資格『臭気判定士』が誕生しました。

臭気判定士は、におい環境保全に貢献する臭気環境分野で唯一の国家資格です。

においを専門とする環境 保全のスペシャリスト

臭気判定士の仕事のながれ

パネルの選定（嗅覚検査）



Step 1

はじめに、実際においを嗅ぐ6名の被検者（パネル）の選定を行います。嗅覚の検査を行い、一般的な嗅覚であるかどうかを判定します。

試料採取（サンプリング）

Step 2

においが排出されている工場の敷地境界や煙突などで、においが強いときのガスをポリエステル製の袋に採取します。

判定試験

Step 3

6名のパネルに試料の入った袋を1つと無臭の袋2つをセットにして渡し、においの感じる袋を選んでもらいます。においを嗅ぎ当てることが出来なくなるまで、薄めていきます。

結果のまとめ（臭気指数の算出）

Step 4

6名のパネルのうち、上下2名をカットし、残り4名の個人閾値を平均することで、臭気指数を算出します。

パネル6名	希釈倍数／対数 ×10 1.00	×30 1.48	×100 2.00	個人閾値（対数）
A	×			最小値
B	○	×		1.24
C	○	○	×	1.74
D	○	○	×	1.74
E	○	○	×	1.74
F	○	○	○	最大値

中央4名の平均 1.615 （×10） → 臭気指数 16

臭気判定士とは？

1996年の悪臭防止法の改正に伴い誕生した資格です。臭気判定士は臭気測定に関するすべてのことを熟知し、パネルの選定、試料採取（サンプリング）から嗅覚測定までを行い、安全かつ精確に臭気指数の測定業務が行える能力が要求されます。
最近の筆記試験では合格率は40%前後で、大変取得し甲斐のあるものになっています。測定機関が地方自治体などから測定委託を受ける場合、臭気判定士資格を取得していることが条件となります。

臭気指数とは？

臭気指数とは、人間の嗅覚を用いて悪臭の程度を数値化したものです。具体的には、試料を臭気が感じられなくなるまで無臭空気で希釈したときの希釈倍率（臭気濃度）の対数値に10を乗じた値です。

臭気指数の目安は以下のとおりです。

臭気指数10	梅の花の香り
臭気指数20	手持ちの花火をしているとき
臭気指数30	ガソリンを給油するとき

嗅覚検査とは？

嗅覚検査とは、「一般的な嗅覚」をもっているかどうかを調べる検査方法です（合格率:約95%）。
実際ににおい袋を嗅ぐパネルはもちろんのこと、臭気判定士も試料採取や嗅覚測定法による測定に際して、自らの嗅覚による判断が要求されるため、嗅覚検査に合格する必要があります。